

# 事業手法について

資料3

	メリット	デメリット	備考
直 営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政がコントロールできる</li> <li>・継続的に運営できる</li> <li>・地域住民の安心感</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・財政負担が大きい</li> <li>・斬新なアイデア・ノウハウが出にくい</li> </ul>	
公民連携 ※やり方はいろいろあります。	<div style="border: 1px dashed blue; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行政が一定のコントロール</li> <li>・行政の信用・保証</li> </ul> </div> <div style="border: 1px dashed orange; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民間の資金の活用</li> <li>・民間のアイデア・ノウハウの活用</li> </ul> </div>		
民 営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジネスベース(財政負担なし)</li> <li>・斬新なアイデア・ノウハウ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政がコントロールできない</li> <li>・不採算による撤退がある</li> <li>・地元住民の不安感</li> </ul>	

解消

解消

公民連携とは・・・事業内容から、施設整備、運営等まですべてを民間にまかせてしまうものではなく、行政と民間がお互いにメリットのある方法を協議・調整しながら、事業展開していく方法であり、行政はもちろん地域が望まない施設ができてしまうということはありません。